

e-株主リサーチ 個人投資家モニターアンケート

いま注目される「ESG投資」は、あまり浸透していないものの、新しい流れとして関心を示す。

IRコミュニケーション支援の株式会社 a2media (<http://www.a2media.co.jp>) は、個人投資家と上場企業を繋ぐコミュニケーションツールであるe-株主リサーチを使い、2017年1月13日～1月23日にかけて、企業IRについての意識調査を実施しました。アンケートの概要、結果ダイジェストは以下の通りです。

■ESG投資については、概念の浸透度が低い。

年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)が2015年9月に国連の責任投資原則に署名したことから関心が高まっているESG投資について、e-株主モニターにおける認知度は「言葉もどのような内容のものかもよく知っている。」「言葉はよく聞き、内容もある程度知っている。」の回答を合わせて19.5%であるのに対し、「言葉をはじめて聞いた。」の回答が53.1%と過半数を占めた。e-株主モニターは比較的株式投資歴の長い個人投資家が登録しているが、それでもESG投資という概念の浸透度がまだ低いことをうかがわせる結果が出た。(PDF 2枚目にグラフ)

続けて、ESG投資の考え方について簡単に説明したうえで、今後の株式投資の中で興味ある考え方かどうか尋ねたところ、「ESG投資は、今後、株式投資において重要な潮流になると思うので注目している。」の回答は8.5%で、「ESG投資の考え方は理解しているが、浸透するかどうか見極めたいと思う。」「ESG投資についてあまり知らなかったが、興味があるので情報を集めてみたいと思う。」といった、ESG投資に対して慎重なスタンスやESG投資についての知識吸収の回答が多い結果となり、e-株主モニターにおいては、ESG投資はこれからの概念であることが見て取れた。(PDF 3枚目にグラフ)

■株主通信は郵送を望む人が過半数。株主通信の読み方は「興味のあるページだけ読む」人が約半数を占め、掲載する財務諸表はビジュアル化を望む人が半数弱。

株主通信の制作の是非及び郵送かHPでの閲覧でよいかについて尋ねたところ、制作は不要とする意見は少数にとどまり、制作する回答の中でも従来通り郵送を望む意見が53.0%と過半数を占める一方、HPでの閲覧で良いとする意見も40.9%あった。しかし、当アンケートはインターネットアンケートであり、回答者はインターネットリテラシーが高い層であることを考慮すると、個人投資家全体では、従来通り郵送を望むニーズが高くなるものと思われる。(PDF 5枚目にグラフ)

株主通信の読み方を尋ねたところ、「興味のあるページだけ読む。」が約半数ともっとも多く、「必ず全ページ目を通す。」が約3割、「ざっと眺める程度。」が約2割となった。(PDF 5枚目にグラフ)

また、株主通信に掲載される財務諸表については、「グラフ化など、ビジュアル化された財務諸表」を選択した人が半数弱に上った。(PDF 6枚目にグラフ)

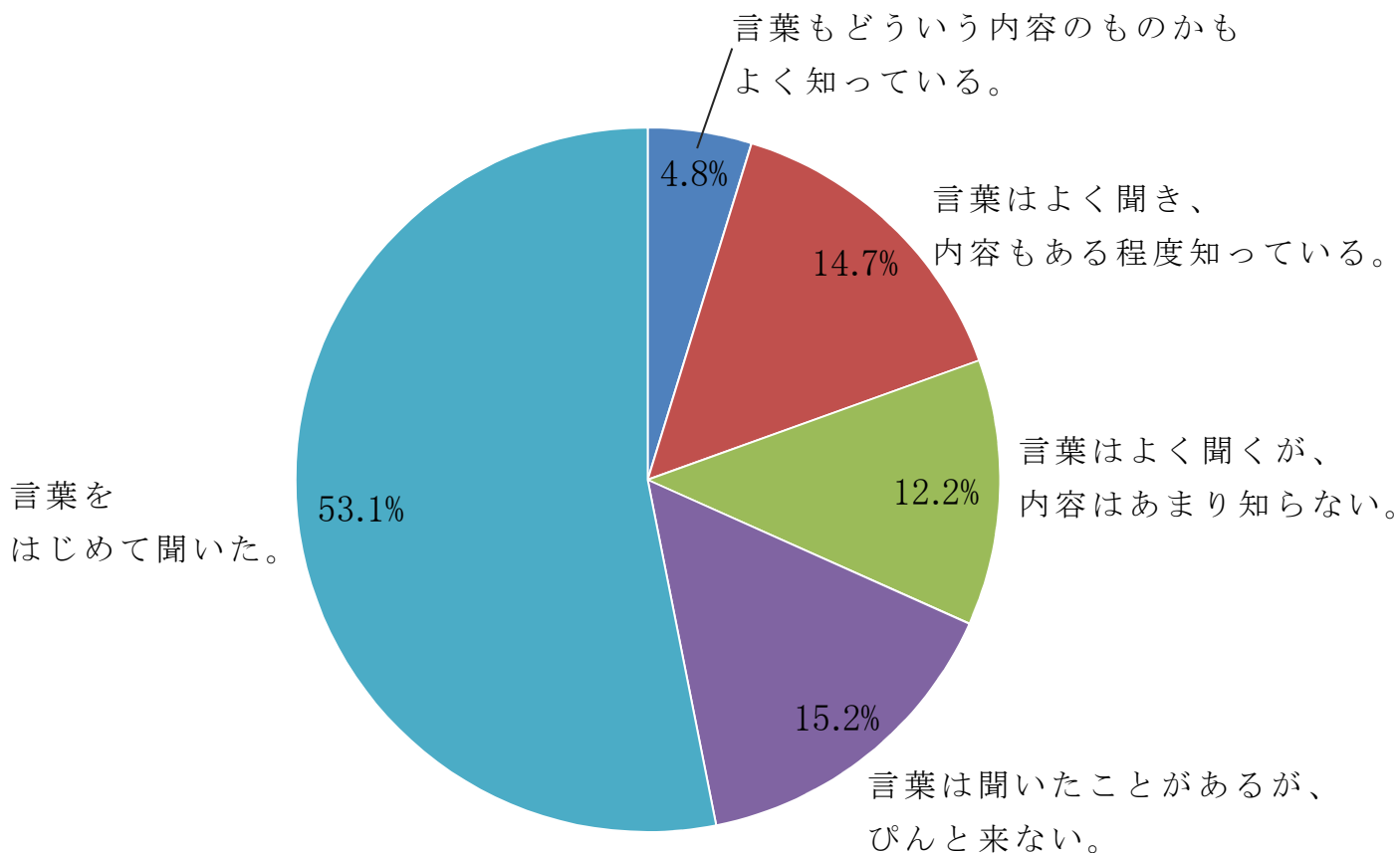
■スマートフォン保有者の約3分の1が、スマートフォンを利用してIR情報にアクセス。

スマートフォンを利用したIR情報へのアクセスについて尋ねたところ、全回答者の約2割、スマートフォン保有者の約36%が、スマートフォンを「よく活用して」または「ときどき活用して」IR情報にアクセスしているという結果が出た。(PDF 6枚目にグラフ)

以上

【E S G投資の認知度】

「E S G」という言葉と内容を知っていますか。選択肢からもっとも近いものを1つお選びください。

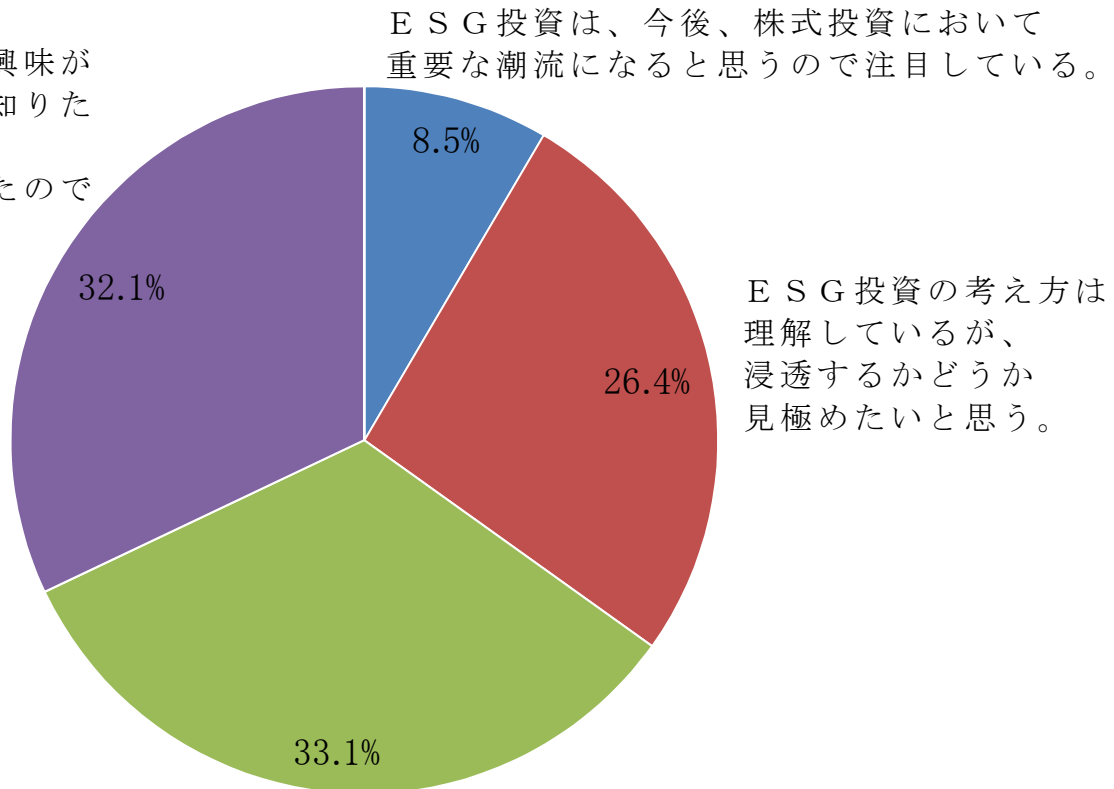


「言葉もどういう内容のものかもよく知っている。」「言葉はよく聞き、内容もある程度知っている。」とあわせて2割弱であり、「言葉をはじめて聞いた。」とする人が過半数となるなど、個人投資家においては、E S G投資という言葉や概念がまだ十分に浸透していないことをうかがわせる結果が出た。

【E S G投資の関心度】

企業の持続可能な成長（サステナビリティ）という考え方が広まる中で、「E S G : Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）」といった非財務情報を重視して長期的なリターンを求める「E S G投資」という考え方が最近注目されてきています。こうした考え方に興味はありますか。選択肢からもっとも近いものを1つお選びください。

E S G投資について興味がわからないので、特に知りたいとは思わない。／言葉をはじめて聞いたのでよくわからない。

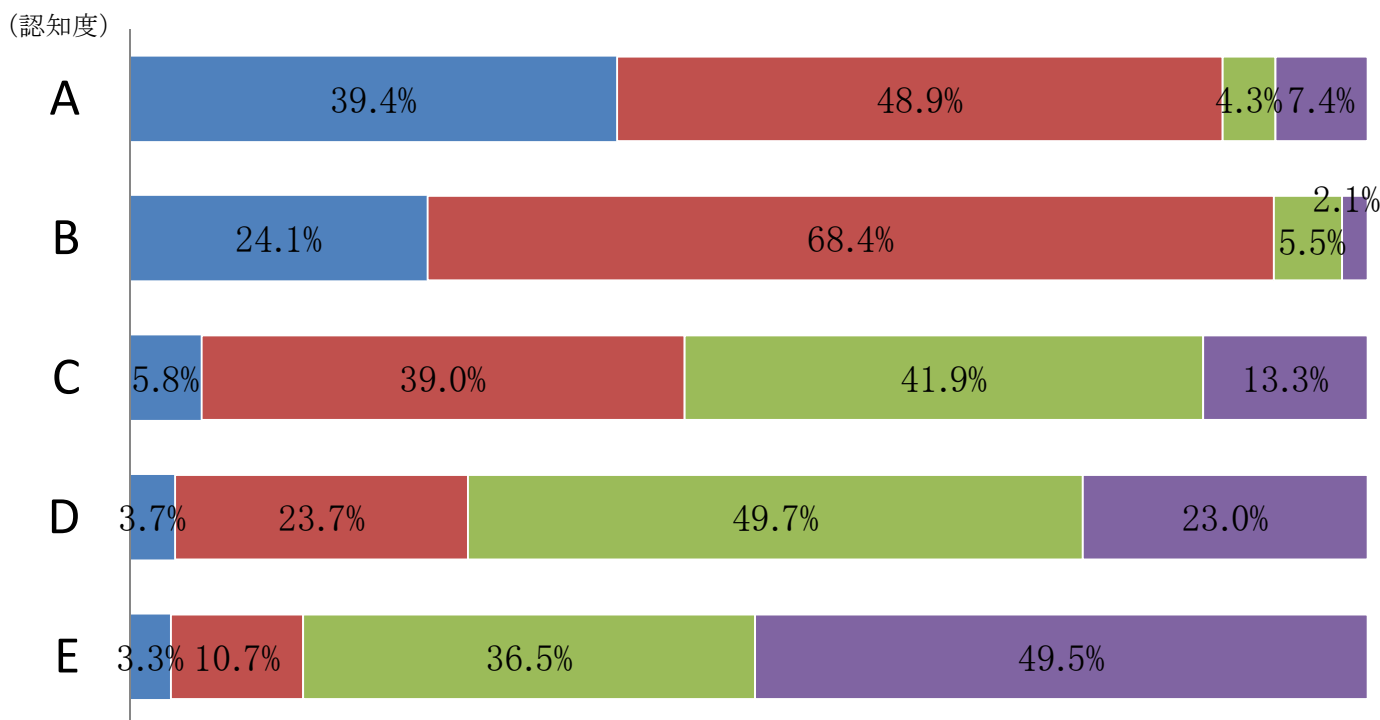


E S G投資についてあまり知らなかったが、興味があるので情報を集めてみたいと思う。

選択肢文でE S G投資の考え方について簡単に説明したうえで、今後の株式投資の中で興味ある考え方かどうか尋ねたところ、「E S G投資は、今後、株式投資において重要な潮流になると思うので注目している。」と積極的な回答を選んだ人は1割弱となった。

概念の浸透が充分でないなか「まずE S G投資という考え方を知りたい」という姿勢が見て取れる。

【ESG投資の認知度と関心度の関係性について】



【ESG】言葉の認知度についての回答

言葉もどういう内容のものかもよく知っている。	A
言葉はよく聞き、内容もある程度知っている。	B
言葉はよく聞くが、内容はあまり知らない。	C
言葉は聞いたことがあるが、ぴんと来ない。	D
言葉をはじめて聞いた。	E

【ESG】株式投資における概念に対する関心度

ESG投資は、今後、株式投資において重要な潮流になると思うので注目している。	Blue
ESG投資の考え方は理解しているが、浸透するかどうか見極めたいと思う。	Red
ESG投資についてあまり知らなかったが、興味があるので情報を集めてみたいと思う。	Green
ESG投資について興味がわからないので、特に知りたいとは思わない。／言葉をはじめて聞いたのでよくわからない。	Purple

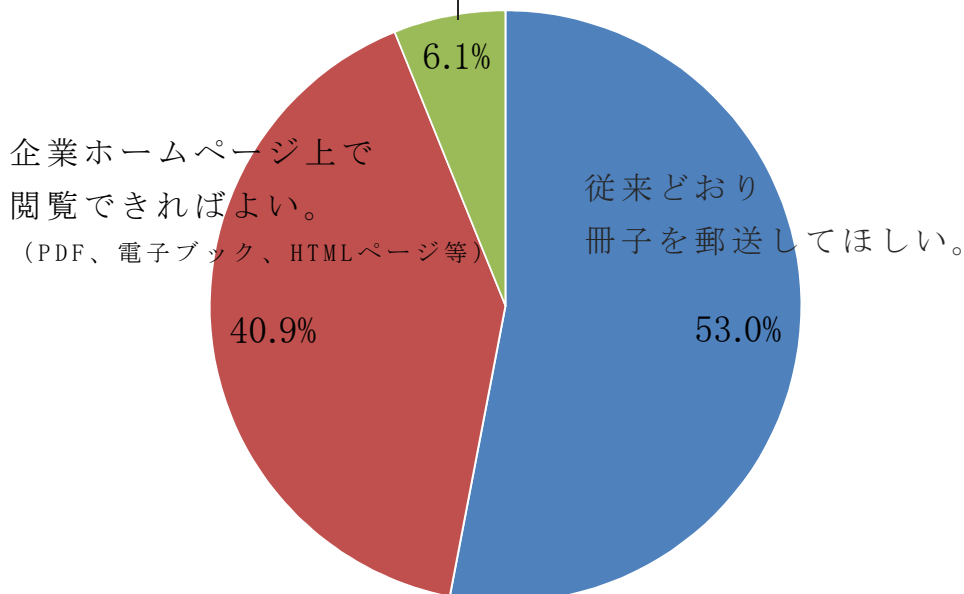
ESG投資について「言葉もどういう内容のものかもよく知っている。」と回答した人のうちの約4割が「ESG投資は、今後、株式投資において重要な潮流になると思うので注目している。」と回答しているが、「言葉はよく聞き、内容もある程度知っている。」と回答した人ではその回答割合は約24%に下がり、「ESG投資の考え方は理解しているが、浸透するかどうか見極めたいと思う。」が7割近くに上っており、ESG投資に対して慎重な姿勢を示している。

【株主通信について】

株主向け報告書（株主通信）の制作・郵送に関して、ご意見をお聞かせください。

制作は不要である。

（法定開示書類や株主向け報告書以外のIR情報だけで十分である）

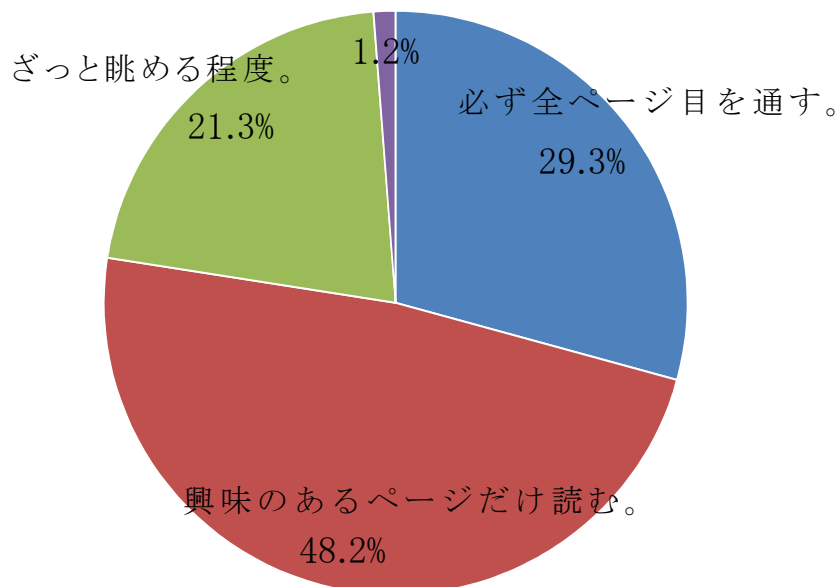


インターネットアンケートながら「従来どおり冊子を郵送してほしい。」が過半数。

【株主通信について】

企業から郵送される株主向け報告書（株主通信）について、目を通されますか。

読まずに捨てる。



「興味のあるページだけ読む。」とする人が半数近くを占める。



●本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社 a2media 第2企画営業部 大内泰輔
TEL : 03-5777-3662

E-MAIL: taisuke.ouchi@a2media.co.jp

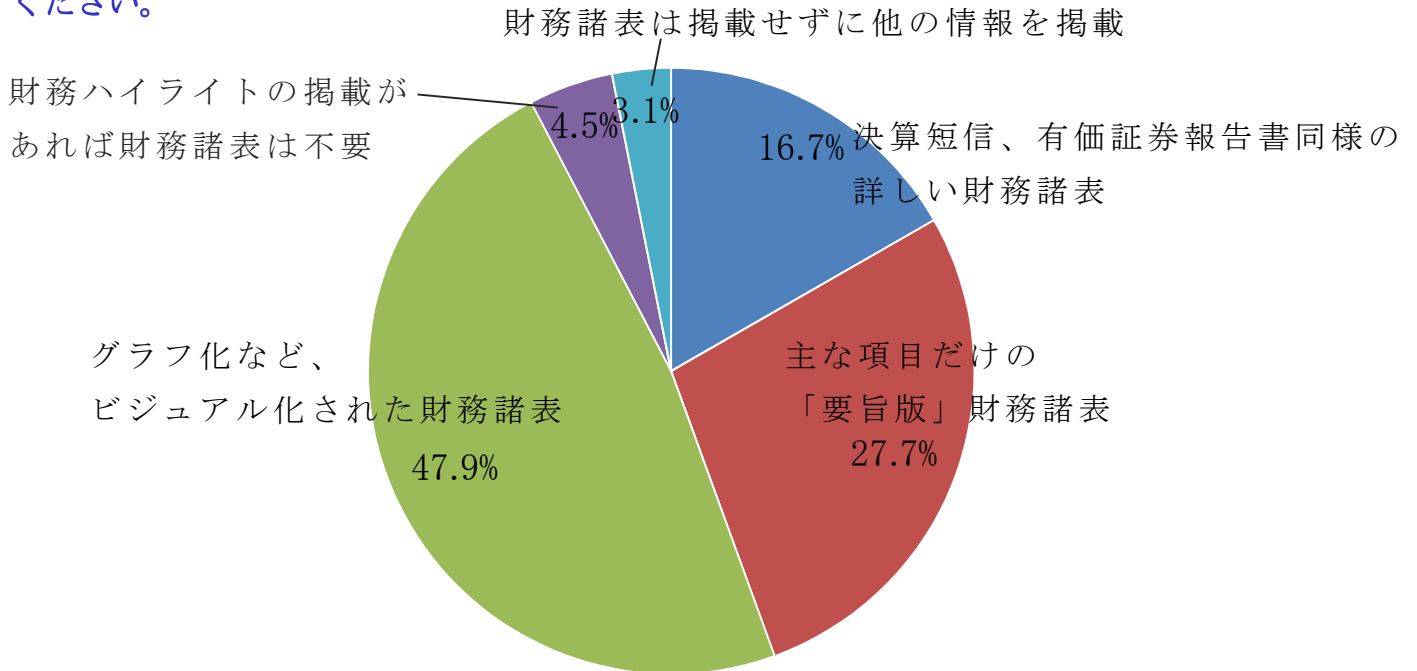
●e-株主リサーチに関するお問い合わせ先

e-株主リサーチ事務局 須賀裕介
TEL : 03-5777-3661

E-MAIL: yusuke@a2media.co.jp

【株主通信について】

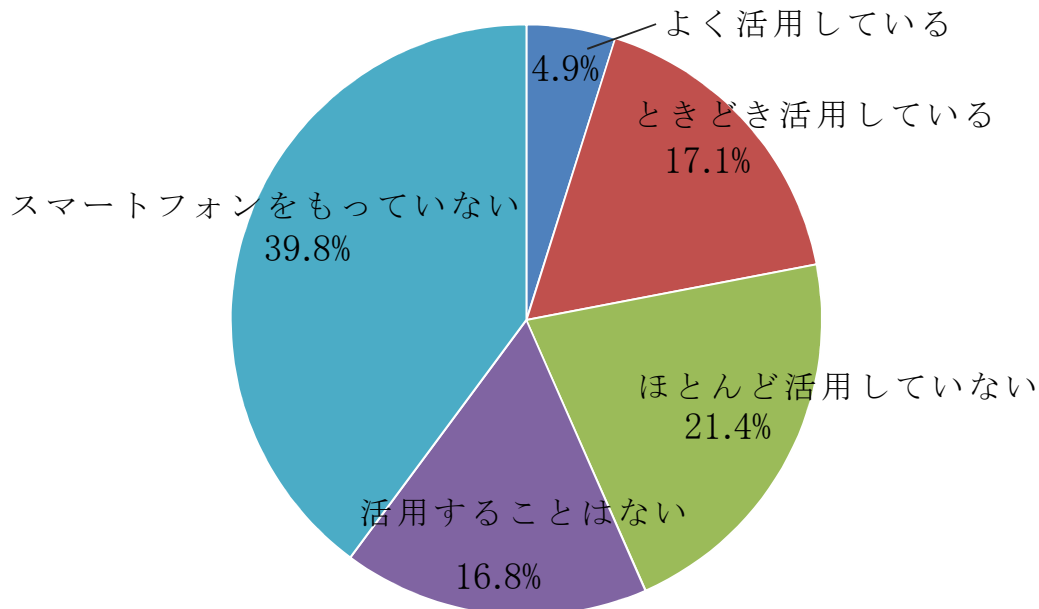
株主向け報告書（株主通信）によく掲載されている財務諸表について、ご意見をお聞かせください。



「グラフ化など、ビジュアル化された財務諸表」の回答が半数弱を占める。

【スマートフォンの利用について】

スマートフォンの企業ホームページの投資家向け情報をご覧になることはありますか。



「よく活用している」「ときどき活用している」を合わせ、回答者の2割強、保有者の約36%の人が、スマートフォンを活用してIR情報にアクセスしている。



●本リリースに関するお問い合わせ先 株式会社 a2media 第2企画営業部 大内泰輔
TEL : 03-5777-3662
E-MAIL: taisuke.ouchi@a2media.co.jp

●e-株主リサーチに関するお問い合わせ先
e-株主リサーチ事務局 須賀裕介
TEL : 03-5777-3661
E-MAIL: yusuke@a2media.co.jp

<調査概要>

調査方法：インターネットを利用したアンケートリサーチ

調査対象者：(株) a2mediaのe-株主リサーチモニター会員

調査期間：2017年1月13日～2017年1月23日

集計回答人数：1,975人

調査項目：

[属性]性別、年齢、職業、株式投資歴、居住地、投資資金、投資目的

[調査項目]株主通信、株主総会への出席意向、ESG投資、スマートフォンの利用 ほか

全体	全体				
	1,975				
性別	男性		女性		
	1,645		330		
年齢	30代以下	40代	50代	60代	70代以上
	300	537	488	442	208

<e-株主リサーチモニター属性>

母集団属性 (2017年2月16日現在)

■性別/男性77%、女性23%

■年代/29歳以下1%、30代11%、40代29%、50代26%、60代19%、70歳以上14%

■職業/会社員45%、会社役員4%、公務員・非営利団体職員10%、自営業8%、パート・アルバイト・フリーター5%、専業主婦9%、学生1%、無職・定年退職15%、その他3%

<e-株主リサーチについて>

(株) a2mediaが実施する個人株主を対象としたインターネット調査。3つのサービスを提供しています。

1. e-株主リサーチ

上場会社が主に本決算・第2四半期(中間)決算期に個人株主向けに配布する年次報告書内にてアンケート告知を行い、インターネットサイトに誘導し回答するシステム(携帯電話でも回答可能)です。

IR担当者はリアルタイムで回答状況を把握できるだけでなく、同時期に実施している他社の結果と比較しながら自社結果を閲覧することができます。従来までのはがきを利用した株主向けのアンケートに比べ、劇的なスピードアップとコストダウンを実現します。

2. e-株主リサーチモニターアンケート

e-株主リサーチ回答者に対してモニター会員の登録案内を行い、現在約20,000名(2017年2月16日現在)が登録しております。時事問題やトレンドをテーマに、個人投資家モニターの考え方や意見について定期的に調査を実施中。

個人株主の実態や企業のIR活動への要望などを分析し、個人株主と上場企業のコミュニケーションの円滑化図っていきます。

3. e-株主フェア

オンラインで実施する個人投資家向け会社説明会です。e-株主リサーチモニターを中心に来場案内を行いますので、投資経験豊富な個人投資家にアピールすることが可能です。また、会社説明閲覧後にはアンケートを実施しており、個人投資家のホットな声を直接聞くことができます。個人投資家コミュニケーションの場としてご活用いただけるサービスです。



●本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社 a2media 第2企画営業部 大内泰輔

TEL : 03-5777-3662

E-MAIL: taisuke.ouchi@a2media.co.jp

●e-株主リサーチに関するお問い合わせ先

e-株主リサーチ事務局 須賀裕介

TEL : 03-5777-3661

E-MAIL: yusuke@a2media.co.jp

NEWS RELEASE

2017年2月24日
株式会社 a2media



<株式会社 a2mediaについて>

会社概要

会社名：株式会社 a2media
URL：http://www.a2media.co.jp
所在地：東京都港区西新橋3-3-1西新橋TSビル7F
設立日：2002年8月8日
資本金：6,230万円
代表者：代表取締役社長 永山 均

事業内容：I R企画・制作、年次報告書・アニュアルレポート・会社案内作成、I Rサイト・コーポレートサイト構築、映像メディア作成、事業会社向けインターネットマーケティング、コンサルティング

事業概要：株式会社 a2mediaは、Enhanced IRを企業理念にI R活動を支援しています。Enhanced IRとは、さまざまなマーケティング手法を駆使し、I R活動の領域を広げることで、顧客企業の投資家を中心にステークホルダーへのプレゼンスを改善・向上していこうという考えです。
株式会社 a2mediaは、e-株主リサーチやe-株主モニターアンケートの結果などを多方面からの情報を連動させ、独自の知的アセットを構築し、市場の求めるメディアのあり方を模索していきます。



- 本リリースに関するお問い合わせ先 株式会社 a2media 第2企画営業部 大内泰輔
TEL：03-5777-3662
E-MAIL:taisuke.ouchi@a2media.co.jp
- e-株主リサーチに関するお問い合わせ先 e-株主リサーチ事務局 須賀裕介
TEL：03-5777-3661
E-MAIL:yusuke@a2media.co.jp